

平成31年3月29日

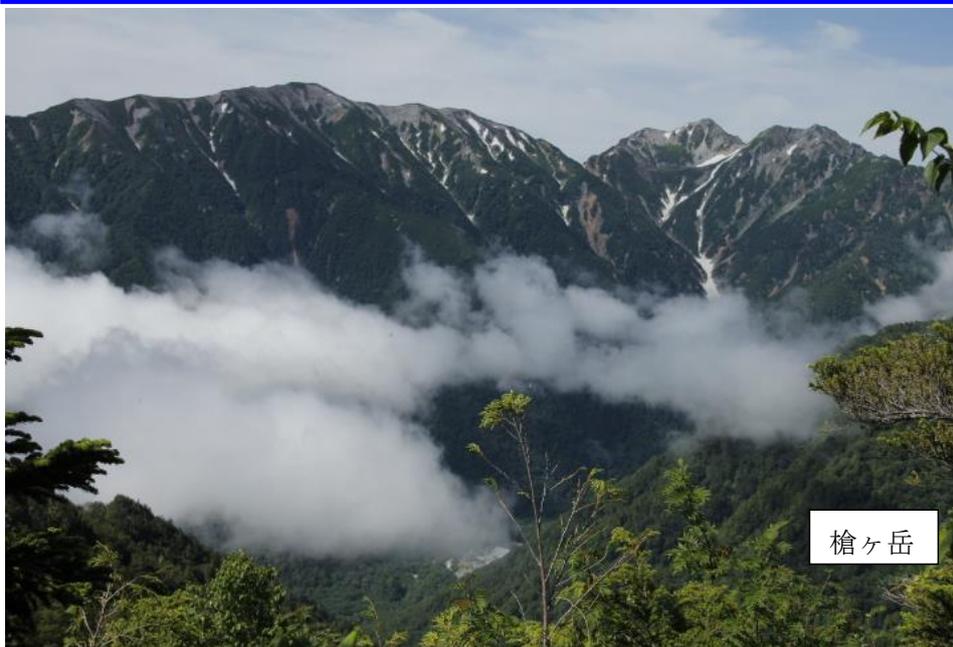
会員各位

協会だよりー3104(4月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)
触媒資源化協会

2・【トピックス】:

- 第44期定期総会の開催日が5月14日（火）で確定しました。
場所：JXグループ 六本木クラブ
住所：東京都港区六本木3-16-7
時間：14:30-15:30（役員会）
16:00-17:00（総会） 17:30-19:30（懇親会）
- 30年度会計監査を4月16日（火）PM3:00にビステーション新橋会議室で実施



- 一. 協会よりのお知らせ
- 二. 「トピックス」
- 三. 「実施済事項」
- 四. 「予定事項」
- 五. 事務局より（4月度の予定）
- 六. 【雑学】小林尚道氏の漫遊記「乃木坂から赤坂へ散策する」

3. 【実施済事項】

- ① 協会だより3103（3月号）をHPに更新・各会員並びにOB各位に通知
- ② HPの会長写真更新・正会員・賛助会員会社の変更
【会員専用HPの更新】
 - 第239回月例会・講演会写真公開
 - 239回月例会・新年会写真公開
 - 第38回JSCRA会結果報告

- 第38回JSCRA会写真集公開
- 3月度経費報告
- 2018年触媒実績報告書PDF版公開並びに郵送
- 新年度の年会費請求書の郵送

③ 第38回JSCRA会の実施

日時：3月6日（水）

場所：総武カントリークラブ総武コース

参加：16名（4組）

参加会社：JX金属(株)・堺化学工業(株)・双日(株)・日石金属(株)・日本フィルコン(株)
横浜金属(株)・松田産業(株)・中外鋳業(株)・日本無機化学工業(株)
石福金属興業(株)・ユミコアジャパン(株)・阪和興業(株)・新興化学工業(株)

結果：優勝 廣川大助様（阪和興業(株)）；

準優勝 松島緯央様（ユミコアジャパン(株)）

3位 納富孝幸様（日本フィルコン(株)） ベスグロ：松島緯央様（86）

次回幹事：幹事長 廣川大助様、幹事：下村亮介様、事務局：角田



写真 前列左から（敬称略）松島・下村・渡辺・安田・菊地・川岸
中列左から 中能・西野・増井・佐野・清水
後列左から 角田・飯田・納富・廣川（不在：角田雅）

④ 第6回運営委員会と懇親会の実施

日時：3月15日（金）16：00－17：00

場所：堺化学工業(株)東京支店会議室

議題：●第242回月例会（一泊研修会）は10月4日（金）－5日（土）で「小名浜製錬所」を見学することになりました。

●第240回月例会（見学会）は7月に①JFE スチール、②クロノゲート、③地下鉄博物館の何れかから選定予定です。

●安田薬品株式会社が運営委員から退職します。

⑤ 退会連絡

「服部産業株式会社」から3月31日付で「退会届」となります。

⑥ 協会担当者の変更連絡

◎ヘレウス株式会社 小林直久様から

貴金属材料事業部 貴金属回収・化学品部 次長 関 芳正様

電話：03-9902-6588（直通） メール：yoshimasa.seki@heraeus.com

◎エヌ・イーケムキャット株式会社 野口綱夫様（理事兼調査・技術委員長）から
化学触媒営業部主任 小松 晃様へ（協会役職は継続）

メールアドレス：akira.komatsu@ne-chemcat.co.jp

◎クラリアント触媒株式会社 宮木義治様（運営委員）から

営業マネージャー 野々山大輔様へ（協会役職は継続）

メールアドレス：Daisuke Nonoyama@clariant.com

◎日興リカ株式会社 永田伸和様から

営業本部 営業一部二グループ 課長 竹内 康之様

メールアドレス：ytakeuchi@nikko-rica.co.jp

4. 【予定事項】

- ① 第44期総会出席者整理・総会資料作成

5. 事務局（4月度の出勤予定）

出勤予定●：9日間 ×：年末休み

日	月	火	水	木	金	土
	4/01	4/02	4/03	4/04	4/05	4/06
		●		●		
4/07	4/08	4/09	4/10	4/11	4/12	4/13
		●			●	
4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20
		●			●	
4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27
		●		●		
4/28	4/29	4/30				

（文責：専務理事）

【雑学】乃木坂から赤坂へ散策する

東京メトロ千代田線・乃木坂駅を出ると、もうそこは乃木神社です。明治天皇崩御の際、乃木希典将軍が殉死をとげた旧邸宅が現存し、隣に乃木神社が建立されました。乃木将軍が殉死する前まで邸宅前の坂は江戸時代より幽霊坂と云われていましたが、乃木坂と云われる様になりました（写真参照）。本日の散策は略港区の赤坂2丁目から9丁目に散在する神社、公園、大名邸跡、勝海舟邸跡などの訪問が中心で散策したコースを先ずは紹介します。



《コース》千代田線乃木坂駅発…乃木神社・旧乃木邸…東京ミッドタウン・檜町公園（毛利屋敷跡）…檜坂…氷川神社…南部坂…勝海舟邸跡…勝安房邸跡（海舟・竜馬師弟像）…氷川公園…赤坂サカス…山王日枝神社…千代田線赤坂駅（解散）

＜乃木神社・旧乃木邸＞港区赤坂8丁目11-27

祭神・乃木希典将軍・乃木静子夫人、大正12年に創建され、昭和20年5月の東京大空襲で焼失、現在の社殿は昭和37年の再建です。



乃木神社社殿



旧乃木邸

＜東京ミッドタウン・檜町公園（長州藩毛利屋敷跡）＞港区赤坂9丁目7-1～9

東京ミッドタウンは旧防衛庁の跡地に誕生した地上54階（高さ248m）のミッドタウン・タワーは東京都内で最高層のビルです。隣接する檜町公園は江戸時代、長州藩松平大膳大夫（毛利家）の下屋敷があった所です。左の写真は毛利家下屋敷の名残りという池が広がる檜町公園です。



左の写真は毛利家下屋敷の名残りという池が広がる檜町公園です。



ミッドタウン・タワー

＜氷川神社＞港区赤坂6丁目10-12

檜町公園より檜坂を登り、アメリカ大使館宿舍脇を過ぎると高台に氷川神社があります。元禄のころには、ここに三次藩浅野土佐守家の屋敷や広島藩浅野安芸守（浅



野家本家)、浅野式部少輔（浅野土佐守の義父）の屋敷がありました。浅野内匠頭の正室（夫人）阿久理の実家です。元禄14年3月14日、浅野内匠頭は江戸城松の大廊下で吉良上野介に切りつけ、その日の内に、一関藩田村右京大夫の上屋敷（おおよそ今の港区新橋3丁目あたりです）で切腹しました。阿久理は髪を下ろして瑤泉院と改め、翌15日に三次藩邸に引き取られました。時代は下って八代将軍徳川吉宗の頃、ここに氷川神社が

建立されました。

＜勝海舟邸跡＞港区赤坂6丁目10-39（氷川神社裏）

氷川神社から本氷川坂を下ったところに、勝海舟が安政6年（1859）から明治元年（1868）37歳から46歳まで住んだ屋敷跡の碑があります。現在はソフトタウン赤坂台というマンションの敷地となっています。文久2年11月、坂本竜馬が海舟を切ろうと面会を申し入れ、逆に感化され師弟の結びをした屋敷といわれています（海舟・竜馬師弟の像は第二の屋敷跡に建立されています）。

慶応4年（1868）3月に西郷隆盛と会談し、江戸城の無血開城を決定した時この屋敷に住んでいました。



私たちは、再度本氷川坂を登り、氷川神社に戻って南部坂へ向かいます。南部坂の命名は、江戸時代前期に盛岡藩南部家中屋敷があったためといわれています。明暦2年（1656）、赤穂藩浅野家と屋敷の交換が行われ、南部家は今の有栖川公園の場所に移り、こちらにも南部坂があり、同名の坂が二ヶ所あります。

南部坂は大石内蔵助良雄が吉良邸討入りの前に瑤泉院に暇乞い訪れた歌舞伎・忠臣蔵の「南部坂雪の別れ」の舞台となりました。この討入り前の暇乞いは創作で事実ではないようです。

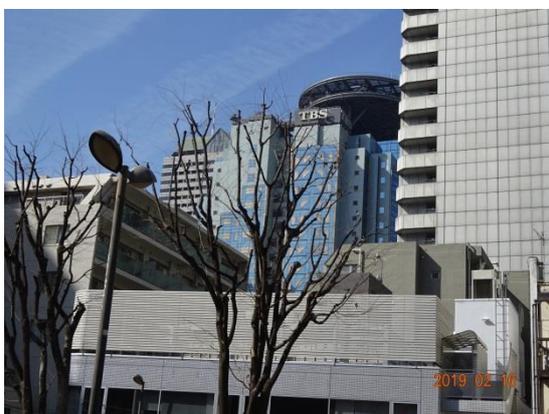
＜勝安房邸跡（海舟・竜馬師弟像）氷川小学校跡地＞港区赤坂6丁目6-14

ここは勝海舟（この頃から主に勝安房と名乗ったよう^{やすふさ}です）が明治5年（1872）から同32年（1899）に77歳で死去するまで住んだ場所です。

邸宅跡は、後に氷川小学校になり、廃校になった現在、港区民のための複合施設として活用されています。約2年前の平成28年（2016）に勝海舟・坂本竜馬師弟像の銅像が建立されました。本来ならば、この像は港区赤坂6丁目10-39（氷川神社裏）の海舟邸跡（現在はマンション）に建立すべきでしょうが私有地の為、こちらの港区の公有地に建立したものであると思われまふ。出来て2～3年のほやほやの銅像とは思いませんでした。



＜氷川公園＞港区赤坂6丁目5



江戸時代前期、この公園付近には広島藩浅野家を本家とする浅野家の本・分家があり、浅野内匠頭の屋敷もこの地域にありました。元禄10年（1697）にはその一部が旗本屋敷になりました。明治39年（1906）、新山莊輔氏[※]の邸宅となっていたこの地を赤坂区が買収し明治41年（1908）氷川尋常小学校が開校しました。後、火災になり学校は旧勝海舟邸跡に引っ越しました。同小学校の移った跡地を公園として開設しました。公園からはTBSビルの裏手が望まれます。

※ 新山莊輔氏は駒場農学校（後の東京大学農学部）出身の獣医師で、永らく宮内省御料牧場長や小岩井牧場長（岩手県）を勤めた人物です。

＜赤坂サカス・TBS（広島藩浅野家屋敷跡）＞港区赤坂5丁目3



TBS放送センターを中心に、レストラン&ショップが入った赤坂Bizタワー、マイナビBLITZ赤坂、赤坂ACTシアターなどが集結しています。昼食はタワーの2階にある「やぶそば」で卵とじ蕎麦をいただきました。

<山王日枝神社>千代田区永田町2丁目10-5



赤坂より外堀通りを渡ると小高い丘の上に日枝神社が見えてきます。高齢者には嬉しい三連の長いエスカレーター（上りのみ）が有ります。



創建の年代は不詳ですが、文明10年（1478）、太田道灌が江戸城築城に当たり、川越の無量寿寺（現在の喜多院・中院）の鎮守である川越日枝神社を勧請したのに始まりといわれています。徳川家康が江戸に移封された時、城内の紅葉山に遷座し、江戸城の鎮守としました。慶長9年（1604）秀忠により江戸城外の麴町隼町に遷座しました。

明暦3年（1657）の大火により社殿を焼失したため、万治2年（1659）家綱が赤坂の松平忠房の邸地に遷座（現在地）しました。昭和20年（1945）の空襲で社殿が焼失し、昭和33年（1958）に再建されました。

<参考資料>

- 郷土資料事典・東京都
- 国史大事典
- 港区歴史観光ガイドブック
- バリアフリーまち歩き MAP
- Wikipedia 他

（文責：小林尚道）